

公表 における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	社会福祉法人 四日市福祉会 ブルーミング・コフレ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月 15日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和8年1月10日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人には放課後等デイサービス以外にも通所支援の事業所・施設入所支援・グループホームの事業所があり、学校卒業以降の支援にもつなげていくことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 通所支援事業所の見学や実際の体験などを行い、事業所の雰囲気を知ってもらう。 通所支援事業所で行われている作業に近い、作業を取り入れ、少しずつ作業練習を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、事業所の見学、体験などを行い、体験を行っていく。
2	事業所内だけではなく、状況によって法人にある空きスペース、グラウンド近くにある地域の公園等を活用することができる。	<ul style="list-style-type: none"> そのときの児童の状況によって、屋外で気分転換を行ったり、少しでも落ち着けられる環境に移動してもらうことができる。 個人の状況に応じて、過ごされるスペース等もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、児童たちが落ち着ける環境や場所を見つけていき、少しでも穏やかに過ごしていただけるように心がける。
3	できるだけ、児童の送りの際、保護者とお話できる時間を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> 児童の送りの際、短時間ではあるが、保護者とお話する時間を設けている。 できていなかった面だけではなく、できたことなどを伝えられるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援の工夫によって、児童のできることを増やしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリー面で玄関・避難口の段差が解消できていない。	玄関の段差、避難口の解消ができていない。	<ul style="list-style-type: none"> 現段階で解消できそうな設備等を検討していく。
2	全ての保護者との面談の機会、子育ての助言まで行えていない。	前期・半分、後期・半分ずつ、希望される保護者との面談を行っているが、すべての保護者と面談の機会を設けられていない。また子育ての助言ができるまでの力がついていない。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、保護者と面談ができる機会を増やし、子育てについてアドバイスもできるように力をつけていく。
3	保護者に対し、事業計画、安全計画、各種マニュアル等の周知ができていない	今年度は5月に保護者会を行い、の事業計画、安全計画、各種マニュアルの説明等を行ったが、それで終わっているため、引き続き、説明を行っていく。	<ul style="list-style-type: none"> 年度初めに保護者に事業計画・安全計画・各種マニュアルを配布し、説明等を行っていく。